

市債の状況

昭和40.9.30現在 (単位千円)

1. 長期債

① 借入先別

区分	一般会計	交通船事業 会	公共下水道事業 会	湯本温泉事業 会
大蔵省資金運用部	227,626	9,375	34,097	
郵政省簡易保険局	67,776		4,573	1,439
農林漁業金融公庫	32,400	5,000		
その他	16,922			
計	344,727	14,375	38,670	1,439

② 目的別

庁舎建設	65,130	造林	32,400	衛生	2,800
市民税減税補てん	69,213	土木	27,995	交通船建造	14,375
災害復旧	42,494	住宅	7,873	下水道建設	38,670
農林水産	49,557	民生	4,744	温泉浴場建設	1,439
教育	39,651	消防	2,865		

2. 一時借入金 なし

金、地方交付税が上位を占めていますが前年度と比べて見ますと、市税では景気上昇による自然増などを見込み市民税の税率を二%下げ減税を実施しましたが三千三百三十七万八千円の増、国庫支出金は二千八百四十万五千円の増、地方交付税は単位費用の改訂や法の一部改正などにより二千八百二十万二千円の増、立売売価価格の増収により財産収入も二千二百四十

六万九千円増加のほかに全般的に増加となっています。九月末日現在の予算額に対する収入支出の執行割合は収入四六・四パーセント、支出二九・八パーセントで前年度同期に比べ少し低下していますが、これは国の財政措置にともなう国庫支出金の抑制策によるものであります。また予算執行に伴う資金繰りは(以下四面に続く)

予算現額と収支の状況

1. 一般会計

昭和42.9.30 現在 (金額単位千円)

款別	(才入)				款別	(才出)			
	予算現額 金額(A)	構成比(%)	収入済額 金額(B)	収入済率 B/A(%)		予算現額 金額(C)	構成比(%)	支出済額 金額(D)	支出済率 D/C(%)
市税	221,296	34.0	115,329	52.1	議会費	14,185	2.2	6,102	43.0
地方交付税	111,833	17.2	80,751	72.2	総務費	96,827	14.9	41,390	42.7
分担金及び負担金	11,516	1.7	4,560	39.6	民生費	105,862	16.3	42,654	40.3
使用料及び手数料	8,277	1.2	4,150	50.1	衛生費	67,035	10.3	5,991	8.9
国庫支出金	119,779	18.4	28,516	23.8	労働費	18,445	2.8	7,819	42.4
県支出金	28,789	4.4	1,906	6.6	農林水産業費	92,067	14.2	15,963	17.3
財産収入	42,193	6.5	15,595	37.0	商工費	29,572	4.5	5,043	17.1
寄附金	9,970	1.5	974	9.8	土木費	77,766	12.0	14,190	18.3
繰入金	1				消防費	16,755	2.6	3,127	18.7
繰越金	30,404	4.7	30,404	100.0	教育費	77,733	12.0	29,909	38.5
諸収入	9,657	1.5	5,070	52.5	災害復旧費	9,195	1.4	2,392	26.0
市債	55,900	8.6	14,500	25.9	公債費	42,334	6.5	19,074	45.1
臨時地方財政交付金	434	0.1			諸支出金	1,473	0.2	150	10.2
予備費					予備費	800	0.1		
合計	650,049	100.0	301,755	46.4	合計	650,049	100.0	193,804	29.8

歳入歳出差引残 107,951千円
特別会計へ一時繰出 16,000 〃

一時借入金 一千円
差引現金残 91,951 〃

2. 特別会計

会計別	歳入 予算現額	歳入 収入済額	歳入 率 %	歳出 予算現額	歳出 支出済額	歳出 率 %	歳入歳出 差引	一般会計より 一時繰入	差引現在残
交通船事業	15,495	7,812	50.4	15,495	6,679	43.1	1,133	—	1,133
国民健康保険事業	110,250	50,095	45.4	110,250	38,895	35.3	11,199	—	11,200
公共下水道事業	47,910	603	1.3	47,901	16,550	34.6	△ 15,947	16,000	53
湯本温泉事業	6,202	3,493	56.3	6,202	2,417	39.0	1,076	—	1,076